

COOL CHOICE 食品ロス削減のススメ

まだ食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」をなくそう!

家庭での主な食品ロスの発生原因は次の3つとされています。
食品ロスを減らすことで、ごみの減量になるだけでなく、家計への負担も減らすことができます。



① 直接廃棄

料理に使い切れずに、消費期限等が切れて手つかずのまま捨てられたもの

対策

- ◎ 買い物の前に冷蔵庫の中を確認し、食べきれない量を買わない
- ◎ 買い物メモを作り、計画的に買い物をする
- ◎ ばら売りや少量パック、量り売りなども利用する

② 食べ残し

食べきれずに捨てられたもの

対策

- ◎ 食べられる量だけ作る
- ◎ 食材を上手に使い切る (※)
- ◎ 冷凍など、食品が傷みにくい保存方法を検討する
- ◎ 食べ残した料理を食べるのを忘れないよう、冷蔵庫・冷凍庫の配置を工夫する

③ 過剰切除

野菜の皮を厚くむきすぎたなど、料理のときに食べられる部分も捨てられたもの

対策

- ◎ 食材を上手に使い切る (※)

※ 山形県では、食品ロス削減につながるエコレシピを毎年募集・公開していますので、参考にしてみてはいかがでしょうか。

<https://www.pref.yamagata.jp/050010/kurashi/kankyo/recycle/recipecontest/recipe.html>



【廃棄物対策課】

特に注意してほしいごみの捨て方です



カセットボンベやスプレー缶、ライターの捨て方

カセットボンベやスプレー缶等に残っていたガスが原因と思われるごみ収集車での火災や処理施設での発火事故が多く発生しています。

必ず使い切り、穴を開けないで金属・その他(青袋)で出してください。

缶を振ってシャカシャカと音がしたらまだ中身が残っています。必ず使い切ってガスを抜いてください。

缶に穴を空ける行為は、火災の原因になったり、ガスを吸い込み体調不良を起こしたりするなど大変危険です。



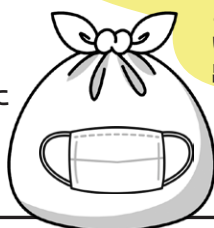
マスクやティッシュ等の捨て方

新型コロナウイルスなどの感染症に感染した方等が使用したマスクやティッシュ等のごみを捨てる場合は、次のことに注意しましょう。

- ☑ 使用したマスク等はすぐにビニール袋に入れて、密閉し、もやすごみ(茶袋)で出す。
- ☑ ごみに直接ふれない。
- ☑ ごみ袋は、口が簡単に開かないようにしっかりしばって封をする。
- ☑ ごみを捨てた後は手を洗う。

マスク等のごみのポイ捨ては絶対にやめましょう。

ごみ袋を出す際は、いっぱいになる前に出しましょう。



モバイルバッテリーや加熱式電子タバコの捨て方

過度な力が加わることで発熱・発火する危険がありますので、蛍光管・乾電池の収集日に他のものと分けて透明の袋に入れて出してください。

【廃棄物対策課】